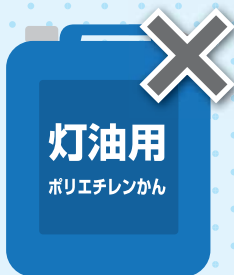


容器について



灯油用ポリエチレンかん
にガソリンを入れることは
非常に危険です



ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある
材質を使用することと容量が制限されています

危険性 について

ガソリンは気温が-40℃でも気化し
小さな火源でも、離れていても引
火し爆発的に燃焼する物質です



購入について

セルフスタンドでは利用者が自ら
ガソリンを容器に入れることはでき
ません



消防法令の基準に適合した
容器でガソリンスタンドにて
購入してください

ガソリン 携行缶

けい
こう
かん

正しく使う6つのポイント

保管について

ガソリンを容器に入れて、長期間、
または不必要に保管することは極力
控えてください

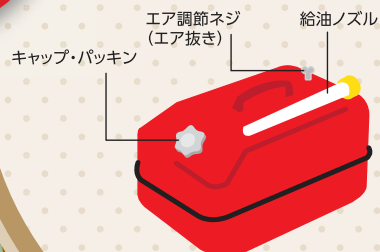


空

ガソリンは、揮発性が極めて高く
火災が発生すると爆発的に広がる
ので、直射日光や高温になる場所
には保管しないでください

取扱い について

使用時には取扱説明書をよく読み
適正な取扱いをしてください



パッキンの劣化、キャップの
締め方の不備等注入口からの
漏れによる危険物漏えい事故
の報告があります

噴出事故防止 について



ガソリン噴出は事故に
つながります
取扱いには十分注意し
てください

噴出注意

- 周囲の安全を確認
- フタを開ける前に
 - ① エンジン停止
 - ② エア抜きをする
- 高温の場所禁止

KHK 危険物保安技術協会

ラベルのついた 確かな製品を選びましょう

これが安心の印です。「試験確認済証」

ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。

良く読んで安全にお使いください。

このラベルは、消防法による容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。

試験確認済証



危険物保安技術協会



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル
TEL. 03-3436-2353

<http://www.khk-syoubou.or.jp/>

危険物保安技術

検索

携帯・
スマートフォンは
こちらから▶

